

巻頭言 就任のご挨拶

高等教育機関の自立性を育み、 そして共に育つ評価機関を目指して



公益財団法人
日本高等教育評価機構 理事長
安井 利一

令和6(2024)年6月19日開催の当機構評議員会において、任期満了による評議員及び役員の改選が行われました。また同日の臨時理事会において新しい執行体制が決定し、この度、理事長を拝命することとなりました。認証評価の研究と質の向上を目指して沢副理事長にも関わっていただき、伊藤常務理事及び職員とともに多様な社会を支える人材を育てる高等教育機関の発展に寄与できる評価機関となるよう更に努力いたします。

機関別認証評価は、令和7(2025)年度から第4期を迎えます。第4期の評価システムは、令和4(2022)年に発

表された「新たな時代の質保証システムの改善・充実について(審議まとめ)」などを踏まえて内部質保証の更なる実質化や評価方法の効率化、大学・評価員双方の負担軽減に資する評価方法の見直しなどを行っております。

今後とも、会員校はじめ関係各位の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新評議員名簿 (敬称略・五十音順、任期4年)

●評議員 (18人)

- 泉屋 吉郎 (学) 金沢工業大学理事長
- 小野 長門 (学) 君が淵学園理事、崇城大学学長
- 弦間 昭彦 日本医科大学学長
- 後藤 泰之 (学) 名古屋電気学園理事長、愛知工業大学学長
- 鈴木 勉 (学) 大妻学院常勤監事
- 高柳 元明 (学) 東北医科薬科大学理事長
- 谷岡 一郎 (学) 谷岡学園理事長、大阪商業大学学長
- 鶴 衛 (学) 鶴学園理事長・総長
- 苫米地 司 (学) 北海道科学大学理事長
- 野原 明 教育ジャーナリスト
- 畑山 浩昭 (学) 桜美林学園理事、桜美林大学学長
- 福井 一光 (学) 鎌倉女子大学理事長、鎌倉女子大学学長、鎌倉女子大学短期大学部学長
- 福井 直敬 (学) 武蔵野音楽学園理事長
- 福井 洋子 大手前短期大学学長、(学) 大手前学園副理事長
- 焼廣 益秀 広島国際大学教授・相談役
- 柳澤 章 (学) 日本工業大学理事長
- 六鹿 正治 元(公社)日本建築家協会会長
- 渡邊 秀俊 文化学園大学副学長・造形学部長

新役員名簿 (敬称略・五十音順、任期2年)

●理事 (18人)

- 〈理事長〉安井 利一 (学) 明海大学理事
- 〈副理事長〉沢 良子 (公財) 日本民藝館理事
- 〈常務理事〉伊藤 敏弘 (公財) 日本高等教育評価機構事務局長
- 〈理事〉
 - 青木 二郎 弁護士法人内幸町総合法律事務所代表社員
 - 安部 直樹 (学) 九州文化学園理事長
 - 石田 優子 (学) 石田学園副理事長、広島経済大学学長
 - 大野 勲 東北医科薬科大学学長
 - 小出 秀文 日本私立大学協会常務理事・事務局長
 - 清水 一彦 (学) 松商学園理事、松本大学学長、松本大学松商短期大学部学長
 - 瀬戸熊 修 (学) 千葉工業大学理事長
 - 瀬野 隆 (学) 国土館常任理事、評議員、国土館大学名誉教授
 - 高井 昌史 (株) 紀伊屋書店代表取締役会長
 - 塚本 英邦 (学) 塚本学院副理事長、大阪芸術大学副学長、大阪芸術大学短期大学部学長
 - 西村 泰志 (学) 常翔学園理事長
 - 久光 正 昭和大学学長
 - 水戸 英則 (学) 二松学舎理事長
 - 三輪 博美 (学) 名古屋電気学園常務理事・経営統括本部長
 - 山谷敬三郎 (学) 北翔大学理事、北翔大学学長、北翔大学短期大学部学長

●監事 (2人)

- 妹尾喜三郎 元大蔵省(現・財務省)印刷局長
- 三田村典昭 三田村会計事務所代表

C O N T E N T S

巻頭言⇒就任のご挨拶	1
報告⇒令和5(2023)年度 評価結果	2
寄稿⇒令和7(2025)年度からの新評価システム	3
北翔大学 山谷敬三郎氏	
インタビュー⇒八戸学院大学 村本卓氏	4

インタビュー⇒関西福祉科学大学 江端源治氏	5
STUDY 評価システム⇒「判断例」について	6
Annual Plan & Report (事業計画・事業報告)	6
From JIHEE⇒実施大綱、評価基準の改訂など	7
会員校	8

70大学・9短期大学の機関別認証評価を実施

当機構は、令和5(2023)年度に70大学・9短期大学の機関別認証評価を行い、その結果を令和6(2024)年3月に公表しました。また、26大学から延べ88件、1短期大学から11件の改善報告を受けて審査を行い、その結果を大学・短期大学へフィードバックしました。

■ 学生に対する支援に多くの優れた取組み

70大学・9短期大学の機関別認証評価を実施した結果、68大学・9短期大学を「適合」、2大学を「不適合」としました(表1)。「不適合」の要因は、1大学については大学全体の収容定員充足率が低いこと、もう1大学については学修成果の点検・評価や教育の内部質保証の体制とその運用に大きな課題があることでした。

評価結果の「優れた点」を基準ごとに見ると、大学と短期大学合計で、基準2「学生」に最も多く103件ありました(表2)。その中で、留学生等を含む多様な学生に対する学修、就職・進学、学生生活上の支援に関する充実した取組みが好事例として挙げられています。また、保護者や地元企業、地方自治体等の大学のステークホルダーとの連携による学生支援についても多く挙げられています。

当機構のホームページで、全ての「優れた点」を年度別にまとめて公表しています(トップ→評価結果→認証評価結果における大学等の優れた取組み)。

■ 法令等に基づく大学・法人運営に多くの課題

「改善を要する点」は、基準5「経営・管理と財務」に最も多く43件あり、次いで基準4「教員・職員」に32件ありました。中でも、平成27(2015)年に改正された学校教育法や学校教育法施行規則に基づく学長のガバナンスと私立学校法に基づく理事会・評議員会の運営等に関する指摘が多く挙がっています。

このほか、基準2「学生」では基準項目「学生の受入れ」における収容定員未充足についての指摘、基準6「内部質保証」では内部質保証の機能性に関する指摘が多く挙がっています。

当機構の評価判定委員会では、例年多く指摘されている事項については毎年「判断例」を作成し、ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

■ 99件の改善報告書を審査

令和5(2023)年7月に、26大学から88件、1短期大学から11件、延べ99件の改善報告書と根拠資料を受

表1 令和5(2023)年度 評価結果の概要

● 大学機関別認証評価

「適合」68大学

愛知工科大学／青森中央学院大学／朝日大学／旭川市立大学／芦屋大学／一宮研伸大学／岩手保健医療大学／宇部フロンティア大学／奥羽大学／桜花学園大学／大阪大谷大学／大阪観光大学／大阪芸術大学／大阪工業大学／大阪総合保育大学／関西医療大学／関西福祉大学／畿央大学／京都外国語大学／国立音楽大学／健康科学大学／甲子園大学／埼玉学園大学／滋慶医療科学大学／静岡英和学院大学／静岡福祉大学／至誠館大学／周南公立大学／純真学園大学／松蔭大学／杉野服飾大学／西南女学院大学／摂南大学／高岡法科大学／筑紫女学園大学／中国学園大学／筑波学院大学／東亜大学／東海学園大学／東京家政学院大学／東京純心大学／桐朋学園大学／桐朋学園大学院大学／東北公益文科大学／東北文教大学／常磐会学園大学／豊橋創造大学／長岡大学／名古屋音楽大学／名古屋芸芸大学／名古屋造形大学／日本映画大学／日本薬科大学／ノースアジア大学／梅花女子大学／八戸学院大学／東大阪大学／兵庫大学／びわこ成蹊スポーツ大学／福島学院大学／北海商科大学／北海道情報大学／北海道千歳リハビリテーション大学／松山東雲女子大学／目白大学／盛岡大学／安田女子大学／山梨学院大学

「不適合」2大学

愛国学園大学／日本保健医療大学

● 短期大学機関別認証評価

「適合」9短期大学

宇部フロンティア大学短期大学部／大阪芸術大学短期大学部／作新学院大学女子短期大学部／静岡英和学院大学短期大学部／西南女学院大学短期大学部／八戸学院大学短期大学部／兵庫大学短期大学部／福島学院大学短期大学部／松山東雲短期大学

表2 基準ごとの指摘件数(70大学・9短期大学の合計)

基準	基準1 使命・目的等	基準2 学生	基準3 教育課程	基準4 教員・職員	基準5 経営・管理と財務	基準6 内部質保証
優れた点	10	103	34	29	22	16
改善を要する点	2	30	9	32	43	29

理しました。当機構は、これらの改善報告書が各大学・短期大学のホームページで公表されていることを確認した上で、大学は改善報告等審査会及び大学評価判定委員会にて、短期大学は短期大学評価判定委員会にてそれぞれ審議を行い、その審査結果を大学・短期大学へ通知しました。

当機構のホームページでは、改善報告書の提出があった大学・短期大学名と該当基準項目を年度別にまとめて公表しています(トップ→評価結果→改善報告書等の公表及び提出)。

■評価システム改定の経緯と社会的情勢

日本高等教育評価機構(以下「当機構」という。)は、第3期の認証評価を通して、学修成果の可視化や学長のガバナンスの実効性、法人運営などでの指摘や認証評価に対する社会的関心が薄いことなどを把握してきた。これらを踏まえて、評価システム改善検討委員会では、令和4(2022)年度から第4期の評価システムの方向性について検討を進めてきた。検討に当たっては、内部質保証の実質化を重要課題と捉え、令和4(2022)年に文科省から出された「新たな時代の質保証システムの改善・充実について(審議まとめ)」や私学法の改正、当機構で令和3(2021)年度に実施した第3期の評価システムの中間検証の結果や受審校からの意見等を踏まえ、専門職大学・短期大学にも対応できるよう令和7(2025)年度からの第4期の評価システムの改定を行ってきた。

■第4期評価システムの方向性について

第4期評価システムでめざすこととして、7点挙げている。詳細はここでは記述できないが、項目とその主な内容を紹介する。

① 内部質保証の実質化を促進する

現行の基準6「内部質保証」を基準1「使命・目的」の次の基準2に移動させ、使命・目的の実現のための内部質保証という意味付けを強調し、より明確化させた。また、自己点検評価書においては、改善への取組みを促すことをねらいに基準ごとに課題と改善状況、今後の取組みの予定等を記述する欄を設けた。さらに、学生や学外関係者の意見・要望の把握・分析、結果の活用を内部質保証の機能性の基準項目に加えることとした。

② 文部科学省の提言等との整合性を取る

文科省の審議まとめを受け、大学が保証すべき「質」をこれまでの「教育の質」から「教育研究の質」とするなどの語句の整合性を図った。

③ 大学の特色の進展に資する評価を更に強化する

自己点検評価書に「成果が出ている取組み」を記述できるようにし、大学の特色の進展を促し、継続的、積極的な自己点検・評価活動となるように改めた。

④ 大学が社会の支持を得るための支援を強化

大学が自己点検・評価に当たって、ステークホルダーに評価結果などを周知することや高校、地方公共団体、



山谷 敬三郎 氏
北翔大学 学長
(当機構の評価システム改善
検討委員会委員長、
大学評価判定委員会委員)

民間企業などの意見を取り入れるように配慮した。また、評価報告書の様式を工夫し、不適合などの要因を理解しやすくするとともに、QRコードを付し、評価結果の見方の解説もスマホで見られるようにする予定である。

⑤ 評価方法を効率化する

前回の認証評価で内部質保証に問題がない大学では、これまで2泊3日で行っていた実地調査を原則1泊2日とし、特色ある取組みや課題等に絞った調査に変更する。

⑥ 大学・評価員双方の負担を軽減する

エビデンス資料については、原則デジタルデータによる提出とする。ただし、評価員経験者からの要請を受け自己点検評価書についてはプリントアウトしたものの提出を求めるが、製本などは必要としないこととした。

⑦ 評価校へのフォローアップをシステム化する

改善を要する点の指摘への対応として3年後までの取組みを報告するよう変更する。

■残された課題への対応

認証評価事業は、評価基準や基準項目に照らして、各大学の教育研究活動の質の向上や大学運営の改善に資することが目的である。また、内部質保証の実質化を促進するには、受審大学と評価チーム双方にその受け止め方にブレがないように評価作業をすることが鍵となる。そうした認証評価作業は、受審大学にも評価チームの評価員にも大きな責任と負担が課されると考える。第4サイクルの評価システムが、こうした課題に対して少しでも改善できるように当委員会では議論を進めてきた。受審校、評価員の皆様のご理解とご協力を得て、学生にとって学びがいのある大学づくりの一助なることを願っている。

評価校

学内の体制を整備することで円滑な認証評価に



村本 卓 氏
八戸学院大学
地域経営学部長
(大学・短期大学自己評価担当者)

今回の同時受審に当たり自己点検・評価の実施や自己点検評価書の作成等をどのような体制で行われたのか教えてください。

認証評価の受審に当たっては、大学、短期大学部とも学長がそれぞれリーダーシップをとって進めました。本学では、毎年度、自己点検評価委員会が主体となって自己点検・評価を行っています。自己点検評価委員会は大学、短期大学部合同の委員会ですが、自己点検評価書の編集は大学、短期大学部それぞれで進め、共通部分については共同作業を行っています。

短期大学部が日本高等教育評価機構に入会し、令和5年度に同時受審をすると決定した時から、大学と短期大学部の自己点検評価書の完成時期を揃え、掲載項目や内容の共通化を図るなど準備をしてきました。

大学と短期大学のLO(自己評価担当者)をお一人でお務めいただきましたが、苦勞されたことなどはありませんでしたか。

本学には大学と短期大学部の幹部教員による運営会議があり、認証評価や自己点検に関する方針はこの会議で審議されます。私は学部長として運営会議の構成員となっており、認証評価に関する状況も常に把握できたため、問題なくLOを務めることができました。

書面質問への回答について、大学・短期大学間での調整はどのように行われましたか。

書面質問には原稿執筆者が回答しました。大学と短期大学部の共通部分は、元々、執筆者が同一ですので、調整などの苦勞はありませんでした。回答が出揃いましたら、大学、短期大学部の学長とLOが確認し、面談出席者で共有しました。

実地調査は大学・短期大学合同で実施しましたが、よかった点や苦勞した点を教えてください。

これまでは7年間に大学、短期大学部と2回の受審がありましたが、それが1回になったことは良い点だと思います。実地調査では、顔合わせの際の学校紹介が2倍になるため想定時間を超えたり、キャンパスの視察はルート案の段階からかなりの詰め込みになったりと、単独受審に比べて時間不足を感じました。また、学生面談や教職員面談も大学、短期大学部合同でしたので、こちら側というより評価員の先生方にとって時間が足りなかったのではないかと思います。

次年度から第4期の評価がスタートします。今後の同時受審等について、期待される点などがありましたらお聞かせください。

今回の同時受審では、同時期に自己点検評価書の作成、エビデンス集(データ編)の作成、エビデンス集(資料編)のファイリング、発送の作業量がそれぞれ2倍となったことから、想定以上に大変な思いをしました。第4期には、自己点検評価書の製本が不要となり、エビデンス集(資料編)の提出がデジタル化となることには、大いに期待したいところです。また、法人に関する基準6「経営・管理と財務」については、同じ資料を大学分、短大分として提出するのではなく、一つにしていればと考えると。

当機構が実施する大学・短期大学同時受審は、評価基準や評価方法が同一で、実地調査を合同で実施するなど利点の多い制度です。令和5(2023)年度の同時受審を経験された評価校及び評価チーム団長に書面インタビューを行い、同時受審に当たっての工夫や評価に当たり大事にしている点、感想などを伺いました。

評価員

大学と短期大学各々の個性を見落とさないことが重要

※評価員の守秘義務のため、江端氏の担当校名は掲載しません。

※回答本文の下線は、江端氏によるものです。



江端 源治 氏
関西福祉科学大学
理事長・学園長
(当機構の大学・短期大学
評価チーム団長)

大学・短期大学同時受審の評価を行うに当たり工夫された点についてお聞かせください。

●書面調査について

教学活動、管理運営ともに共通内容が多いので相違点(各々の個性)を見落とさぬよう、できる限り大学・短期大学とも同時並行で調査作業を進めるようにしました。片方ずつにすると記憶が不確かとなり、また資料等を見返す時間が増えるのではないかと考えたからです。またこのことを評価チームの団長として評価員の方にお話をしました。

●第1回評価員会議について

やはり大学・短期大学とも同時並行で基準項目ごとのコメントについて意見交換をしました。片方だけの評価員の方も共通の評価部分と、明らかに違う評価部分がより鮮明になったのではないかと思います。学生指導など各々の運営個性もより強く認識できたのではないかと感じています。また各評価員の方々自身の忌憚なきお考えを述べていただけるよう雰囲気づくりを心掛けました。日本高等教育評価機構の基準で評価をしますが、せっかく時間をかけて評価の作業にあたるので他“大学人”の多様な考え方に触れるのも“自身”の成長につながると考えているからです。

●書面質問について

共通する内容についての書面質問がかなり多いので、相違点(各々の個性)を大切にするようにしました。

●実地調査について

同時受審の場合、3日間で実施することが多い中、2日間で実施できたことの1番のポイントは1キャンパスに大学・短期大学の組織が集中していたこと、および自己点検評価書が高等教育評価機構の書式に忠実に簡明に記述されていたことです。さらに書面質問の回答が的確で、実地調査当日の質問事項をかなり絞り込めたことも大きいと思います。

何より受審校の教職員の対応が親切で迅速に動いていただいたおかげです。

●報告書の取りまとめについて

共通(学園の基本姿勢)の評価と相違する(各々の個性)評価の存在をかなり意識しました。

同時受審における評価チームの団長としての心構えや特に工夫された点についてお聞かせください。

教学活動、管理運営ともに共通内容が多いので共通点(学園の教学姿勢)と相違点(各々の個性)を見落とさぬよう、できる限り大学・短期大学とも同時並行で評価作業を進めることが肝要と存じます。二つのチームではなく一つの合同チームとして団長役を演じるようにしました。

次年度から第4期の認証評価がスタートします。今後の同時受審等について、期待される点などがございましたらお聞かせください。

繰り返しになりますが、共通点が多いので、相違点(各々の個性)を鮮明にするため、また受審校と評価員(機構)の業務効率化のためにも自己点検評価書、評価報告書ともに1本化した方が“メリット多”と思料いたします。

「判断例」について

■「判断例」とは

評価に当たっては、判定委員会のもと、受審校ごとに評価チームを編成しています。

評価チームは、自己点検評価書を点検・分析する「書面調査」と現地で面談や視察を行う「実地調査」を踏まえて「評価チーム評価報告書案」を作成するなどの具体的な評価業務を行っています。

「判断例」は、判定委員会が過去に指摘を付した際の判断基準の例のことであり、評価チームごとの評価結果の平準化を図ることを目的として作成しています。「判断例」は、学校教育法や私立学校法、大学設置基準等の関係法令の改正や認証評価の状況を踏まえて、毎年度見直しを行っており、原則として当該年度の評価結果に反映されています。

■自己点検・評価の際には今一度ご確認を

年度ごとの「判断例」は、次年度の評価員向けのマニュアルである「評価のてびき」に掲載し、評価チームが評価を実施する際の参考として使用しています。

また、「判断例」の中で評価報告書において「改善を要する点」としての指摘などについては、受審校向けのマニュアルである「受審のてびき」や、当機構ホームページで公表しています（トップ→評価事業→評価システムの概要）。

近年の認証評価において多く見られる学長のガバナンスや理事会・評議員会の運営に関する指摘については、「判断例」に基づくものが多くあります。各大学で自己点検・評価を行われる際には、「判断例」の内容についても今一度ご確認願います。

Annual Plan and Report

当機構の事業計画・事業報告から、
主な項目をピックアップしてお知らせします。



■令和6(2024)年度 事業計画

●評価関連

- ・第4期評価システム説明会の開催(4月)
- ・評価員セミナー(動画配信)、団長セミナー(オンライン)の開催
- ・認証評価73大学・6短期大学の実施

●評価基準等の調査研究

- ・認証評価に関する調査研究報告書第12号の刊行
- ・米国における大学評価についての実態と課題の調査研究

●国際関係

- ・諸外国の質保証の最新動向を把握するため、国際会議等へ参加

●法人運営関連

- ・創立20周年記念事業の実施
ホームページのリニューアル(4月)

20周年誌の刊行(7月)

評価充実協議会の開催(7月)

■令和5(2023)年度 事業報告

●評価関連

- ・大学・短期大学評価セミナーの開催(4月)
- ・認証評価の実施(70大学(適合68/不適合2)・9短期大学(適合9))

●評価基準等の調査研究

- ・第4期の評価システムの検討
- ・欧州における質保証へのステークホルダー(特に学生)参画に関する調査研究の実施

●国際関係

- ・協力協定を締結したフィリピンや台湾の評価機関との交流活動の実施(8月、10月)
- ・世界大学総長協会(IAUP)のSemi-Annual Meeting in Japanへの参加(9月)

実施大綱、評価基準の改訂

令和7(2025)年度からの第4期認証評価システムの実施に向けて、大学、短期大学機関別認証評価、ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価の各実施大綱、評価基準を改訂しました。会員校等に送付し、当機構ホームページに全文を掲載しています。

創立20周年記念事業について

令和6(2024)年11月25日に創立20周年を迎えるに当たり、以下の記念事業を実施しています。

〈20周年誌の刊行〉

当機構の20年の歴史や変遷、これまで実施してきた事業の概要等を記念誌としてまとめています。会員校や関係機関に送付し、当機構ホームページで全文を掲載しています。

〈ホームページのリニューアル〉

デザインを一新し、新たに当機構の概要や「評価報告書」の見方を分かりやすく説明するページを掲載するなど、英文サイトを含めてリニューアルを行いました。また、創立20周年記念の特設サイトを立ち上げ、事業内容を紹介しています。

〈創立20周年記念 評価充実協議会の開催〉

創立20周年を冠して評価充実協議会を令和6(2024)年7月9日に開催します。同協議会の意見交換会の席上にて当機構に特に貢献された功労者への表彰式を執り行います。また、来場者には、当機構のオリジナルグッズを進呈します。

当機構の自己点検・評価と外部評価について

当機構は、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度にかけて、機関別認証評価と分野別認証評価を含む事業全般について、機構自身の2回目の自己点検・

評価を実施し、その結果を令和5(2023)年8月に「自己点検・評価報告書」として取りまとめました。その結果を踏まえ、令和5(2023)年9月から令和6(2024)年3月にかけて外部評価委員会による外部評価が実施され、「外部評価結果報告書」が提出されています。また、令和5(2023)年9月には、当機構の「自己点検・評価報告書」を中央教育審議会大学分科会認証評価機関の認証に関する審査委員会へ提出し、同年12月の同審査委員会によるヒアリングを経て、令和6(2024)年3月に事務連絡において確認結果のコメントが付されました。自己点検・評価結果及び外部評価結果などは、ホームページで全文を公開しています。

調査研究について

「認証評価に関する調査研究第12号」を令和6(2024)年6月に発行しました。本報告書は、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度にかけて実施した調査・研究の結果を取りまとめたものです。

「インドネシア、タイ、マレーシアの職業教育訓練機関の質保証に関する調査研究」では、高等教育段階の職業教育訓練の質保証制度を明らかにするため、3か国それぞれの質保証機関と高等教育機関にインタビュー調査を実施しました。

「欧州における高等教育の質保証へのステークホルダー(特に学生)参画に関する調査研究」では、質保証への学生参画の実態を把握するために、英国とベルギーの国際的學生団体、質保証機関及び英国の大学に対してインタビュー調査と、参画する学生へのアンケート調査を実施しました。

本報告書は、ホームページで全文を公開しています。



「調査研究報告書」のページ



左右に配置された流線は(地球)と、両手で作る(輪)をイメージしています。大学と社会を結ぶ機構でありたいとの想いを込めました。

PeeR(ピア)第19号

令和6(2024)年7月9日発行

編集人 伊藤敏弘

編集 天津憲治 小貝萌美 松井麻紀 中里祐紀 石田志門 富久翔

発行 公益財団法人 日本高等教育評価機構

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-11 第2星光ビル2階

TEL 03-5211-5131 FAX 03-5211-5132 URL <https://www.jihee.or.jp/>

当機構へのご意見・ご質問や「PeeR(ピア)」へのご要望はこちらへ

✉ hyoukakikou@jihee.or.jp

ホームページからもお問合せいただけます



大学
345校

公立 1校

- 北海道 1校
- 旭川市立大学

私立 341校

●北海道 17校

- 育英館大学
- 札幌大学
- 札幌大谷大学
- 札幌国際大学
- 札幌保健医療大学
- 星槎道都大学
- 日本医療大学
- 函館大学
- 北翔大学
- 北星学園大学
- 北洋大学
- 北海学園大学
- 北海商科大学
- 北海道科学大学
- 北海道情報大学
- 北海道千歳
- リハビリテーション大学
- 酪農学園大学

●青森 6校

- 青森大学
- 青森中央学院大学
- 柴田学園大学
- 八戸学院大学
- 八戸工業大学
- 弘前医療福祉大学

●岩手 2校

- 富士大学
- 盛岡大学

●宮城 5校

- 尚絅学院大学
- 仙台大学
- 東北医科薬科大学
- 東北工業大学
- 東北文化学園大学

●秋田 2校

- 秋田看護福祉大学
- ノースアジア大学

●山形 3校

- 東北芸術工科大学
- 東北公益文科大学
- 東北文科大学
- 福島 3校
- 奥羽大学
- 東日本国際大学
- 福島学院大学

●茨城 2校

- 日本国際学園大学
- 日本ウェルネス
- スポーツ大学
- 栃木 3校
- 足利大学
- 国際医療福祉大学
- 作新学院大学

●群馬 7校

- 育英大学
- 関東学園大学
- 共愛学園前橋国際大学
- 桐生大学
- 群馬バース大学
- 高崎商科大学
- 東京福祉大学
- 埼玉 19校
- 浦和大学
- 共栄大学
- 埼玉医科大学
- 埼玉学園大学
- 十文字学園女子大学
- 尚美学園大学
- 女子栄養大学

- 西武文理大学
- 東都大学
- 東邦音楽大学
- 日本医療科学大学
- 日本工業大学
- 日本保健医療大学
- 日本薬科大学
- 人間総合科学大学
- 平成国際大学
- 武蔵野学院大学
- 明海大学
- ものづくり大学
- 千葉 16校
- 愛国学園大学
- 植草学園大学
- 江戸川大学
- 開智国際大学
- 亀田医療大学
- 川村学園女子大学
- 神田外語大学
- 三育学院大学
- 秀明大学
- 聖徳大学
- 清和大学
- 千葉科学大学
- 千葉工業大学
- 酪農学園大学
- SBC東京医療大学
- 麗澤大学
- 東京 41校
- 桜美林大学
- 大妻女子大学
- 嘉悦大学
- 国立音楽大学
- 北陸学院大学
- 福井 2校
- 仁愛大学
- 福井工業大学
- 山梨 3校
- 健康科学大学
- 身延山大学
- 山梨学院大学
- 長野 4校
- 佐久大学
- 長野保健医療大学
- 松本大学
- 松本歯科大学
- 岐阜 6校
- 朝日大学
- 岐阜医療科学大学
- 岐阜協立大学
- 岐阜女子大学
- 岐阜保健大学
- 東海学院大学
- 静岡 5校
- 静岡英和学院大学
- 静岡産業大学
- 静岡福祉大学
- 静岡理工科大学
- 浜松学院大学
- 愛知 30校
- 愛知学院大学
- 愛知学泉大学
- 愛知工科大学
- 愛知工業大学
- 愛知産業大学
- 愛知東邦大学
- 愛知文教大学
- 愛知みずほ大学
- 一宮研伸大学
- 桜花学園大学
- 岡崎女子大学
- 修文大学
- 相山女子学園大学
- 星城大学
- 大同大学
- 中部大学
- 東海学園大学
- 同朋大学
- 豊橋創造大学
- 名古屋音楽大学
- 名古屋外国語大学
- 名古屋学芸大学
- 名古屋経済大学
- 名古屋芸術大学
- 名古屋女子大学

- 昭音音楽大学
- 女子美術大学
- 星槎大学
- 田園調布学園大学
- 日本映画大学
- 八洲学園大学
- 横浜商科大学
- 横浜創英大学
- 横浜薬科大学
- 新潟 6校
- 国際大学
- 長岡大学
- 新潟医療福祉大学
- 新潟経営大学
- 新潟国際情報大学
- 新潟青陵大学
- 富山 3校
- 高岡法科大学
- 桐朋学園大学院大学
- 富山国際大学
- 石川 6校
- 金沢学院大学
- 金沢工業大学
- 金沢星稜大学
- 金城大学
- 北陸大学
- 北陸学院大学
- 福井 2校
- 仁愛大学
- 福井工業大学
- 山梨 3校
- 健康科学大学
- 身延山大学
- 山梨学院大学
- 長野 4校
- 佐久大学
- 長野保健医療大学
- 松本大学
- 松本歯科大学
- 岐阜 6校
- 朝日大学
- 岐阜医療科学大学
- 岐阜協立大学
- 岐阜女子大学
- 岐阜保健大学
- 東海学院大学
- 静岡 5校
- 静岡英和学院大学
- 静岡産業大学
- 静岡福祉大学
- 静岡理工科大学
- 浜松学院大学
- 愛知 30校
- 愛知学院大学
- 愛知学泉大学
- 愛知工科大学
- 愛知工業大学
- 愛知産業大学
- 愛知東邦大学
- 愛知文教大学
- 愛知みずほ大学
- 一宮研伸大学
- 桜花学園大学
- 岡崎女子大学
- 修文大学
- 相山女子学園大学
- 星城大学
- 大同大学
- 中部大学
- 東海学園大学
- 同朋大学
- 豊橋創造大学
- 名古屋音楽大学
- 名古屋外国語大学
- 名古屋学芸大学
- 名古屋経済大学
- 名古屋芸術大学
- 名古屋女子大学

- 名古屋造形大学
- 名古屋文理大学
- 日本福祉大学
- 人間環境大学
- 名城大学
- 三重 3校
- 鈴鹿医療科学大学
- 四日市大学
- 四日市看護医療大学
- 滋賀 4校
- 成安造形大学
- 聖泉大学
- びわこ学院大学
- びわこ成蹊スポーツ大学
- 京都 13校
- 京都医療科学大学
- 京都外国語大学
- 京都看護大学
- 京都芸術大学
- 京都情報大学院大学
- 京都先端科学大学
- 京都美術工芸大学
- 嵯峨美術大学
- 種智院大学
- 花園大学
- 佛教大学
- 平安女学院大学
- 明治国際医療大学
- 大阪 36校
- 大阪青山大学
- 大阪大谷大学
- 大阪音楽大学
- 大阪河崎
- リハビリテーション大学
- 大阪観光大学
- 大阪経済法科大学
- 大阪芸術大学
- 大阪工業大学
- 大阪国際大学
- 大阪歯科大学
- 大阪樟蔭女子大学
- 大阪商業大学
- 大阪成蹊大学
- 大阪電気通信大学
- 大阪人間科学大学
- 大阪物療大学
- 大阪保健医療大学
- 大阪行岡医療大学
- 関西医療大学
- 関西外国語大学
- 関西福祉科学大学
- 滋慶医療科学大学
- 四條畷学園大学
- 四天王寺大学
- 摂南大学
- 千里金蘭大学
- 相愛大学
- 太成学院大学
- 宝塚大学
- 帝塚山学院大学
- 常磐会学園大学
- 梅花女子大学
- 羽衣国際大学
- 東大阪大学
- 森ノ宮医療大学
- 和大学
- 兵庫 14校
- 芦屋大学
- 大手前大学
- 関西国際大学
- 関西福祉大学
- 甲子園大学
- 甲南女子大学
- 神戸医療未来大学
- 神戸芸術工科大学
- 神戸国際大学
- 神戸常盤大学
- 宝塚医療大学

- 姫路獨協大学
- 兵庫大学
- 兵庫医科大学
- 奈良 2校
- 奈良大学
- 奈良学園大学
- 和歌山 1校
- 和歌山信愛大学
- 岡山 8校
- 岡山商科大学
- 環太平洋大学
- 吉備国際大学
- 倉敷芸術科学大学
- くらしき作陽大学
- 山陽学園大学
- 中国学園大学
- 美作大学
- 広島 11校
- エリザベト音楽大学
- 比治山大学
- 広島経済大学
- 広島工業大学
- 広島国際大学
- 広島都市学園大学
- 広島文化学園大学
- 広島文教大学
- 福山大学
- 福山平成大学
- 安田女子大学
- 山口 5校
- 宇部フロンティア大学
- 至誠館大学
- 東亜大学
- 梅光学院大学
- 山口学芸大学
- 徳島 1校
- 徳島文理大学
- 香川 2校
- 四国学院大学
- 高松大学
- 愛媛 1校
- 松山東雲女子大学
- 高知 1校
- 高知リハビリテーション
- 専門職大学
- 福岡 13校
- 九州共立大学
- 九州国際大学
- 九州女子大学
- 久留米工業大学
- 純真学園大学
- 西南女学院大学
- 聖マリア学院大学
- 第一薬科大学
- 筑紫学園大学
- 西日本工業大学
- 日本経済大学
- 福岡工業大学
- 福岡国際医療福祉大学
- 佐賀 1校
- 西九州大学
- 長崎 4校
- 鎮西学院大学
- 長崎外国語大学
- 長崎国際大学
- 長崎総合科学大学
- 熊本 5校
- 九州看護福祉大学
- 熊本保健科学大学
- 尚絅大学
- 崇城大学
- 平成音楽大学
- 大分 2校
- 日本文理大学
- 別府大学
- 宮崎 4校
- 九州医療科学大学
- 南九州大学

- 宮崎国際大学
- 宮崎産業経営大学
- 鹿児島 3校
- 鹿児島純心大学
- 志学館大学
- 第一工科大学
- 沖縄 2校
- 沖縄キリスト教学院大学
- 沖縄国際大学

株式会社 3校

- 東京 2校
- ビジネス・
- ブレイクスルー大学
- LEC東京リーガル
- マインド大学院大学
- 福岡 1校
- サイバー大学

短期大学
27校

私立 27校

●北海道 1校

- 札幌大谷大学短期大学部
- 青森 1校
- 八戸学院短期大学部
- 山形 1校
- 東北文科大学短期大学部
- 福島 1校
- 福島学院短期大学部
- 栃木 1校
- 作新学院大学
- 女子短期大学部
- 東京 3校
- 大妻女子大学短期大学部
- 自由が丘産能短期大学
- ヤマザキ動物看護専門職
- 短期大学
- 神奈川 3校
- 鎌倉女子大学短期大学部
- 昭音音楽大学短期大学部
- 女子美術大学短期大学部
- 岐阜 1校
- 東海学院短期大学部
- 静岡 1校
- 静岡英和学院大学
- 短期大学部
- 滋賀 1校
- びわこ学院短期大学部
- 京都 1校
- 京都外国語短期大学
- 大阪 2校
- 大阪音楽大学短期大学部
- 大阪芸術大学短期大学部
- 兵庫 1校
- 兵庫大学短期大学部
- 岡山 2校
- 作陽短期大学
- 山陽学園短期大学
- 広島 1校
- 比治山大学短期大学部
- 山口 1校
- 宇部フロンティア大学
- 短期大学部
- 愛媛 1校
- 松山東雲短期大学
- 福岡 2校
- 西南女学院短期大学部
- 福岡こども短期大学
- 熊本 1校
- 尚絅大学短期大学部
- 鹿児島 1校
- 第一幼児教育短期大学